南風原町学童保育連絡協議会ってどんな団体？

南風原の学童保育の改善･充実を図る為、学童保育の質の向上、育成支援環境の整備に取り組んでいます。また、行政との懇談を通じで実態の説明や要望等を行い、支援員や保護者向け学習会も行っています。

HAEBARU 町連協NEWS 2023 第1号

加盟クラブ

(社)南風原子どもオンリーワン
学童クラブわんぱく家・うーまく家
(一社)MATCH21
みつば児童クラブ・いろは児童クラブ
(一社)カナカナ
キッズクラブ カナカナ・キッズクラブ Link
(一社) 翔南学童クラブ
(一社)竹の子キッズ
竹の子学童クラブ・第二竹の子学童クラブ

2023
5/2
【FRI】

定期総会報告

南風原町学童保育連絡協議会 第22回 定期総会

開催日時：2023 年５月１２日(金) 19:30～21:00
開催場所：南風原中央公民館　会議室

2023 年５月 12 日(金)南風原町中央公民館２階会議室にて、第22 回 定期総会を開催しました。定期総会では、(１)２０２２年度活動報告、(２)２０２２年度決算報告及び会計監査報告、(３)２０２２年度役員選出(案)、(４)２０２２年度年間計画(案)、(５)２０２２年度年予算書(案) 全議案が賛成多数で承認されたことを報告しました。

今総会に於きましては、３年ぶり対面で行う事ができました。加盟クラブ保護者、沖縄県学童保育連絡協議会･NPO法人沖縄県学童・保育支援センター、南風原町議員、南風原町スクールソーシャルワーカー等、地域関係機関から参加していただきました。

2023年度も、保護者と支援員協力して町内の現状と課題などを、担当課・南風原町議員さんへ伝えながら、南風原町学童クラブ会などと地域力活性化のためのネットワークも広げて行きます。保護者･子ども達が安心して過ごせる放課後の居場所づくりを進めていきたいと思います。

南風原町学童保育連絡協議会 各部【目的･ねらい】

運営部
毎月第３火曜日
運営委員会開催

南風原町連協の機能を円滑に発揮できる様に活動する。主に、資料作成、南風原町内児童クラブの資質向上や放課後児童健全育成事業内容共有のために、担当課との意見交換会、町議員との意見交換会等の企画、開催に向けての準備を行う。

実行部

南風原町連協発展の為の活動を行う。南風原町連協発展・拡充の為には、町連協加盟学童クラブの繋がりを強化し、その輪を広げていくことが必要。その為に、各学童クラブの保護者・支援員間の繋がりを深めながら各部と連携し町連協組織としての質の向上・拡充を狙う。

学習部

支援員認定資格研修・資質向上研修・沖縄県連協が主催する学習会の中で、研修の重要性や必要性を熟知した上で、より現場の支援員目線で課題をキャッチし、支援員による支援員の為の学習会に取り組む。支援員が学びたいと思う内容を考え、現状足りていないと感じる部分をみんなで補えるような学習会を開催し、質の向上を目指す。

今後のスケジュール

5月	■町議員との意見交流会 ■第２２回定期総会 開催 ■第１回スキル学習会
6月	■第１回運営委員会 ■親子イベント① ■町連協ニュース発行
7月	■第２回運営委員会
８月休み	
9月	■第３回運営委員会 ■町連協ニュース発行
10月	■第４回運営委員会 ■第２回スキル学習会
11月	■第５回運営委員会 ■親子イベント②
12月	■第６回運営委員会
1月	■第７回運営委員会 ■第３回スキル学習会
2月	■第８回運営委員会 ■町連協ニュース発行
3月	■第９回運営委員会 ■総括

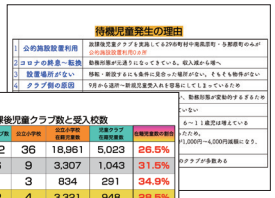
活動報告

R5年度 南風原町議員と南風原町連協との意見交流会

開催日時：2023年５月２日(火)　10:00～12:00
開催場所：南風原中央公民館２階会議室
テーマ「南風原町放課後児童クラブの現状と課題」について

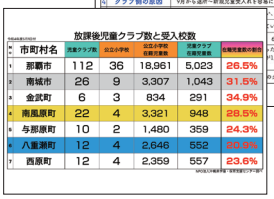
(一社)MATCH21 代表理事赤嶺氏より
南風原町の児童クラブが抱える現状と課題について説明。

①放課後児童クラブ 成り立ちと背景
②放課後児童クラブとは
③南風原町の現状と課題 (他市町村と比較)
④学童保育連絡協議会とは



待機児童発生の理由

1	公的施設設置利用	放課後児童クラブを実施している29市町村中南風原町・与那原町のみが公的施設設置利用とみる
2	コロナの終息～転換	勤務形態が元通りになってきている。収入減から増へ
3	設置場所がない	移転・新設するにも条件に見合った場所がない。もちろん物件がない
4	クラブ側の原因	9月から通所～新規児童受入れを容易にしてしまっているため



放課後児童クラブ数と受入校数

No.	市町村名	児童クラブ数	公立小学校	公立小学校児童数	児童クラブ児童数	利用児童数の割合
1	那覇市	112	36	18,961	5,023	26.5%
2	南城市	26	9	3,307	1,043	31.5%
3	金武町	6	3	834	291	34.9%
4	南風原町	22	4	3,321	948	28.5%
5	与那原町	10	2	1,480	359	24.3%
6	八重瀬町	12	4	2,646	552	20.9%
7	西原町	12	4	2,359	557	23.6%

南風原町は子育て世帯にとってとても住み良い場所です。待機児童問題等ありますが、南風原町こども課はとても協力的です。今後も、町連協の保護者・支援員が協働し、様々な問題や課題に取り組んでいきますので、町議員のみなさんのお力添えをお願い致します。と締めくくりました。

意見交流会の詳しい資料はコチラから→

question 01

玉城議員

❶子どもの育ちの観点から遊びの保障の価値を聞きたい。子どもの権利条約からも遊びの重要性がうたわれており、その後の育ちにどんな差があるのか。

❷学童の利用率が高いのは？

❸学童の入所はどういう方法で決めているのか？８月利用の決定の方法は？入所の時点で年間利用ニーズは分かるのか？

answer

❶遊びについて基本的はガキ大将時代で異年齢で遊びまくっていた。それが、習い事塾等に通うことになり、地域での遊びがなくなってきた。昔は異年齢で高学年が遊びを教えるのが当たり前だった。それによって、低学年の自己中心が自己客観に代わってきた。それは遊びの体験を通してだと学童保育指針で確定している。

❷利用率が高いのは、南風原町が住みやすく、子育て世代が多い。利便性もよい。学童運営者に頼れる存在がいる。

❸入所基準→やっていないところもある。曖昧で決めてる所が多い。南風原小校区は各学童で入所決めてる。他の校区は話し合って入所を決めている。点数制ではないのが多い。

question 02

浦崎議員

❶支援員の課題があったが、現在はどうなっているのか。
人数等や学習の現状等。

❷研修に行く際に時間とるのが難しいという課題はありますか

answer

❶ 学童の資格を持ってる人が半分以上やめている。給料が低い。
正規職員は70名ほどいて、2.8名が各学童にいる。継続年数でいうと、県内全体で５年以内には離職している。
町連協独自で学習会を行っている。県も学習会や情報交換会を行っている。

❷ 会議や研修の負担はある。時間や能力等。
学童は閉鎖的になってしまう。自分達だけがよければいいと思っている法人代表も多々いる。負担はあるがメリットの方が大きい。

thoughts

當眞議員

『南風原町放課後児童クラブの現状と課題』を聞いて、勉強しないとと思った。自治体の認識不足が要因になっているのでは。
裏を返せば、議員の責任にもなってるのではないか。公的施設がないのは南風原と与那原だけと聞いて、問題ではないかと思っている。４年くらい前の翔南小学校に入れると他の小学校との不平等性で断られたとなってるが、これでいいのかと感じている。
また、９月入所となると、クラブ側も困るのではないか。待機児童６０名のうち、３０名が解消されても、残りは困り感を抱えている。行政に携わるものとして努力をしていくと感じた。
自治体の認識不足をカバーするために、協議会の取組もあきらめずに必要とする。

大宜見議員

昨年度までは途中で待機児童が解消されることの認識だったが、子ども達の異年齢の繋がりは必要性を子ども課にも着目して欲しい。

秋山さん（オブザーバー参加）

９月に待機児童が解消するというのは、現実的ではない。祖父母がいれば見れるが、いなければ仕事の縮小をしないといけない。共働きしてる家庭も困っている。
放課後子ども教室の週に２回（火･木）のみ。南風原町の実態も見ていかないといけない。南風原町は認識が甘いのではないか。
子育てしやすい町で転入してきても、待機児童になってしまっている世帯は多い。子育てが出来る環境を作っていかないといけない。